

3R 活動と完全ゼロエミッション

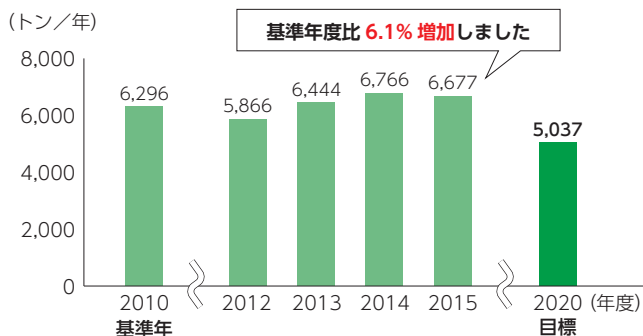
廃棄物の削減に向けて

循環型社会の実現を目指して、3R*活動を推進し環境負荷の低減を図る取り組みを、ISO-14001の環境管理活動の中で進めています。特に廃棄物の発生量自体の削減を目指す発生源対策（リデュース）を重視し根本原因を追及、廃棄物の発生抑制に注力しています。

※廃棄物の発生抑制（リデュース）、部品などの再利用（リユース）、使用済み製品などとしての再利用（リサイクル）

廃棄物等削減活動結果

●廃棄物等総排出量



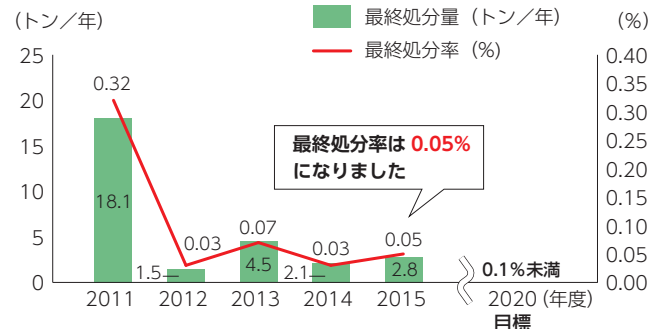
2015年度の廃棄物等*総排出量は、基準年度（2010年度）比で381トン増加となり、2015年度の目標「廃棄物の排出量を2010年度に対し、2015年度までに10%削減」については未達という結果となりました。生産量の増加や生産構成の変化が原因と考えられますが、今後は分別・選別の徹底やリサイクルシ

ステム（特にリデュース、リサイクル）導入、既存のリサイクルフローの見直しなどを展開し、生産量の増加に対しいかにして廃棄物発生量を抑制するかを課題としていきます。

※廃棄物等は、産業廃棄物と再資源化物を含む

最終処分量状況

●最終処分量および最終処分率



アキレスグループ環境目的・目標である「完全ゼロエミッション（最終処分率*0.1%未満）を2020年度までに達成」を目指して活動を行った結果、2015年度最終処分量は約2.8トンで、最終処分率は0.05%となり、2014年度の0.03%に引き続き、完全ゼロエミッションを達成しました。

今後は、完全ゼロエミッションの確立を目指し、分別・選別のさらなる徹底およびリサイクルに取り組んでいきます。

※最終処分率 (%) = 最終処分量 / 総排出量 × 100

大気汚染防止（環境負荷物質）

環境負荷物質の大気放出削減

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR*¹法）」に則り、毎年第一種指定化学物質の排出量・移動量の実績を監督官庁に報告しています。大気汚染防止の取り組みとして、PRTR法対象物質およびPRTR法対象物質以外のVOC*²物質の中で特に大気への排出量の多い5物質（DMF、ジクロロメタン、トルエン、MEK、酢酸エチル）を「環境負荷物質」として、アキレスグループ環境目的・目標「環境負荷物質の大気汚染防止」の対象とし、全製造部門で大気排出量の削減を推進しています。

※1 Pollutant Release and Transfer Register：有害性のある多種多様な化学物質が、どこから、どのくらい、環境中に排出されたか、廃棄物として移動したかを把握し、集計・公表する仕組み

※2 Volatile Organic Compounds：揮発性有機化合物の略称。空気中に揮発する性質のある有機化合物

環境負荷物質の大気排出量結果

2015年度の環境負荷物質を集計した結果、それぞれの大気排出量は2010年度に対し、DMFが25%減、ジクロロメタンが8%減、トルエンが41%減、MEKが2%増、酢酸エチルが20%減となりました。環境負荷物質全体では16%削減し、2010年度に対し15%削減する2015年度目標を達成しました。

●環境負荷物質の大気排出量

